提出順	7	発言順	7	令和 3年11月18日 (午前)・午後 10時31分受領

（1 枚中№ 1）

令和3年11月18日

（宛先）安曇野市議会議長

安曇野市議会議員　橋本　裕二

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和3年安曇野市議会12月定例会		
発言の方法	☑一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	☑市　長　□副市長　☑教育長　□他（　　）		
	担当部長 □総務部　☑政策部　□財政部　□市民生活部　□福祉部 □保健医療部　□農林部　□商工観光部　□都市建設部 □上下水道部　☑教育部　□他（　　）		
質問事項	安曇野市で子育てしたくなるスクールバス運営について。 市内巡回バスの導入、EVバスの自動運転走行実験について。		

質問の要旨（具体的に記載してください）

穂高北小学校を一例として取り上げ、全市的なスクールバス運営の改善の可能性について伺う。

1) 市総合計画の基本目標に「安全・安心で快適なまち」を掲げているが、穂高北小学校をはじめとする市内小学校のスクールバスを学校到着とするのは如何か。また、登下校の道中を児童の足腰を鍛える場として位置付けているが、登校便を利用する児童に対しては始業前に学校運動場を開放する等、代替案はないのか。

2) 登校便のバス停と下校便のバス停を一致させるシンプルな運営を行えない理由は何か。

3) 登校便は始発時刻以外、各バス停の発車時刻が無いため日によってバスの通過時刻がまちまちである。時刻に関係なく児童が立っていなければ待たずに通過するという運営のようであるが、これでは児童の待機時間が長くなり特に冬場は酷である。各バス停に発車時刻を設定できない理由は何か。

4) 穂高北小学校においてはスクールバスの利用条件である自宅学校間の距離要件4.0km（往復8.0km）を緩和し、より多くの児童、特に低学年児童を乗車させ、長距離通学児の安全性を確保する方針に切り替えてはどうか。また、保護者が車で送迎するための駐車場を整備してはどうか。

巡回バス、自動運転バスについて伺う。

5) 誰もが利用できる市内巡回バスを導入し、児童は通学時に無料で乗れるようにする工夫も考えられるが如何か。

6) 塩尻市ではEVバス（電気バス）の自動運転走行実験が一般道で行われている。最新のテクノロジーを取り入れ、未来の公共交通に投資を始めた塩尻市をどのように見ているか。安曇野市はEVバスの自動運転走行実験を行わないのか。